



3月園だより

令和6年3月1日
目黒区立大岡山保育園園長

新型コロナウイルスが5類になったことで地域との交流が可能になり、今年度、久しぶりに小学校の一年生の児童と保育園の5歳児クラスの子どもたちとの見学交流が実現しました。



今回参加したのは、大岡山保育園の他に、さくらさくみらい都立大学、モニカ都立大学保育園の子どもたちです。5、6人のグループになり、それぞれのグループの1年生が、学校案内をしたり、教室に行って学校で使う道具を紹介してもらったり、学校クイズをしてもらいながら、子どもたちはドキドキしながらも嬉しそうに参加していました。保育園の子どもたちも「これはなに？」と質問したり、

図書館では、「私、この本読みたい」と積極的に伝えるなど、主体的にこの交流会に参加している姿がとても頼もしく見えました。いよいよ旅立ちの時を迎える5歳児クラスに名残惜しさを感じます。

今年度も保護者の皆様には多大なご協力をいただき子どもたちも保護者の方の愛情を受けながらすくすくと大きくなったことに感謝申し上げます。また第三者評価のアンケートにご協力いただきありがとうございました。温かいお言葉をたくさんいただき、嬉しく思います。さらに皆様に信頼していただけるような運営に励んでまいりたいと思います。1年間本当にありがとうございました。

3月の予定

卒園式	移動日
お別れ遠足（3、4、5歳児クラス）	お別れ会
中旬	身体計測 避難訓練



ぶどうぐみにインタビュー



保育園で楽しかった行事は何ですか？

2位 遠足

（芋ほり遠足、春の野毛山動物園）

「お芋いっぱい拾ったんだよ。こんなに大きいの」
「お芋はね掘って抜くのが面白いの。バーンって抜けたら嬉しいの」
「亀とかさ、へびもいたんだよ」

1位 運動会

「竹馬はね、進むのにぐらぐらするの。でも楽しいんだよ、足の皮むけたんだよ」
「縄でね、最後投げるのが気持ちいいーって感じだった」
「リレーがすごく楽しかった、負けそうだったんだけどね」

3位 夏祭り

「忍者屋敷とか蜘蛛の巣とかあってね、楽しかったんだよ」

4位 カレーパーティ

「カレーおいしかったよ」

5位 中根小学校見学

「校長室でね、絵を描いたんだよ。楽しかった」





0歳児（いちご組）

坂道を
ハイハイたっちで
のぼりおい

歩いたりハイハイしたり園庭で探索することの楽しさが増し、築山にも登ろうと挑戦しています。1人の子がたっちで築山を登り始めました。一生懸命足で踏ん張って斜面を登りますが、足元が滑り手をつきます。保育士が「大丈夫？」と声をかけると手のひらを見せるので、「痛かったね」というと直ぐに砂の付いた手をパンパンと払って、再び築山に登ろうとします。諦めずに挑戦していたので、保育士もそばで見守りました。すると今度は手をついてゆっくり登り始め、頂上までたどり着くとニッコリ笑って嬉しそうです。「やったーばんざーい」と保育士も一緒に喜びを共有しました。

その声を聞いていた他の子も登り始め、頂上について顔を見合わせて微笑みあっていました。ハイハイや歩行ができるようになり、「やってみたい」という意欲も出てきて全身を使って楽しめるようになりました。



1歳児（もも組）

できたよと
自慢げな顔
かわいらし



ひとりで黙々と積木を重ね、一番上の積木を積むと満足そうに笑っています。側にいた保育士と目が合うと「みて！できた」と大作を見せてくれます。

「すごいね」「すてきだね」と返すと嬉しそうにまた遊び始めます。かまぼこ板積木を横に長く並べたり、チェーンをクルクルと丸めてお花のようにしたり、最初は保育士と一緒に遊んで楽しさが分かる、くり返し何度も遊んでいます。うっかり自分の足や手が当たり、崩れてしまっても「もっかい」と自分で上手に直すこともできます。

“自分でできる”という自信がついてきているのでしょう。

自分の好きな遊びをたくさん見つけた一年間。この大好きな遊びをきっかけに、これからは友達との関わりを広げ、一緒に遊ぶ楽しさを感じてほしいと思います。



2歳児（りんご組）

なりきって
家事に仕事に
フル稼働

子どもたちは、この一年で身の回りの様々なことに興味関心が広がってきました。自分がしてもらったことや自分が見たことなどを真似して楽しんでいます。ある時、3、4人の子が短縄を腰に巻き、持ち手を消防士が使うホースにして「あっちが燃えている。いくぞ」と消火活動に勤しんでいました。室内では、くまのぬいぐるみを前に抱っこした子が「いま、ごはんつくるからねー」とあやしながら食事づくりをしています。

子どもたちは自分の大好きな人、なりたい人をイメージしながら、玩具などを使って表現することを全力で楽しんでいます。なりきっている時の子どもたちの姿は、頼もしくもあり微笑ましいです。





3歳児（さくらんぼ組）

部屋の鏡台の前で「どういう髪型にしますか？これとかおすすめですよ」と手書きのヘアカタログを持ってきて美容院ごっこが始まりました。「じゃあこれで」「髪の毛の色は何色にしますか」「赤で」とやりとりをすると、布を友達の肩にかけて洗濯ばさみで切る真似をしていました。もう一人はペットボトルを洗濯ばさみで挟んで「髪の毛乾かしますよ」とドライヤーを作って乾かします。美容院から帰ってきた友達が保育士のところに来て「髪切ってもらった」と嬉しそうに話します。それを聞いた別の子も、次々とお客さんになり、美容院は大繁盛で大変そうでしたが「ここに座って待っててください」「次の人、どうぞ入ってください」と店員役は楽しそうです。

食事の時間が近づくと「じゃあまたご飯食べたらやろうね」「いいよ。これ取っておこう」と子どもたち同士で約束し、また一緒に遊ぶことを楽しみに友達と食事に向かっていました。この一年間で遊びも具体的になり、友達とやりとりしながら一緒に遊ぶことが楽しくなりました。



「まだあんなほ
ごっこがしたい
と子どもたちが



4歳児（れもん組）

段ボール箱や色紙などを使い、製作活動を楽しんでいます。ある日、「〇〇ちゃんと同じものを作りたい」と保育士に言いに来る子がいました。「〇〇ちゃんに作り方を聞いてみたら？」とさっそく聞きにいきます。二人の様子を見守っていると、聞かれた子どもとても嬉しそうに丁寧に教えてあげていました。友達を助けたり、助けられたりしていく中で、子どもたちはいつの間にか、それぞれの得意なことを知っていきます。

今では子ども同士で「折り紙は〇〇ちゃんが上手だよね」「〇〇君は足が速いから、〇〇君が（鬼ごっこの）鬼の時は鬼を減らさなきゃ」などと話しながら友達の“いいところ”をお互いが見つけ合い、関係が深まっています。これからも、友達との関わりを大切にしながら、仲間と過ごす楽しさを積み重ねていきたいです。



友達の
いいところ
見つける名人達



5歳児（ぶどう組）

人数報告当番係りの子に昼食のメニューを読んでもらっています。「いいですか」「いいですよ」と言ってからメニューを読み、「どうぞ」「いただきます」という食前のやりとりまで、子どもたちが自然に始め今では定番になりました。保育士が調理室にお茶を取りに行っても、当番の子を中心に子どもたちがやりとりを始め、担任が戻るときにはもう自分たちでいただきますと食べ始めていました。保育士がいなくても自分たちで当たり前のように生活ができるようになったことに成長を感じます。

仲間意識が高まりいろいろな経験をしていく中で、担任は甘えたいときに受け止めてくれる人、他は自分たちでやれるよという場面が多くなり、「一人はみんなのためにみんなは一人のために」という言葉はこういうことだと改めて思いました。その中で自分らしさを発揮している子どもたちはきっと小学校でも生き生きと楽しい毎日を過ごせることと思います。



わすれない
みんながいたから
ときました